



第五小学校  
教諭  
野村千恵子

## これが私の 指導法

～知的財産の継承～

「心をつなぐ」。  
私は本校の教育目標にあるこの言葉を大切に過ごしています。人との関わりの中で成長していく子どもたちと心をつなぐためには…と悩みながらの毎日ですが、私

が心がけていることを少し紹介します。

授業で心をつなぐために「学び合いの充実を図る」ことを目指しています。「自分が学ぶ・みんなが学ぶ」ことを伝え、付けたい力を明確にし、ねらいの達成に結びつく学び合いにするために、発問や指示を工夫し、視点を明確にして話し合わせています。お互いの考えを付け加え、質問・比較・検討しながら考えをつないで話し合うように声かけしますが、学びを深めるためには、自分の考えを

もって友達の話を聴くことが大切です。「目と耳と心で」聴き、友達の考えを認め合える学級づくりを目指しています。

学級づくりでは子ども同士だけでなく私も子どもと心をつなぎたいと思っています。私が続けていることは、子どもと一緒にがんばることで、朝の会の歌や音読、給食や掃除等、声をかけ合い一緒に取り組みます。がんばった子には「ありがとう」と声をかけます。健康観察で一人一人の名前を呼び、帰りは「さようなら」と握手して帰す。「今日一日が

## 我が校の実践

能代第二中学校

教諭 近藤 修

『互いの力の伸長を喜び、  
意欲的に学ぶ生徒の育成』  
「ねらい」に迫る「学び合い」の工夫と、確かな定着を図る「振り返り」の充実

本校の研究主題です。学びは個ではなく、互いに関わることで深まっていくと考え、普段の授業でも「学び合い」を大切にしています。また、学習を価値付けるための「振り返り」の時間を、今年度の重点として取り組んでいます。

先月、大仙市で開催された小学校算数教育研究全国大会で、本校の柴田裕彦教諭が、公開授業を披露しま

した。その授業をもとに、本校の研究と関わる部分を紹介したいと思えます。

①生徒の興味・関心をひく導入の工夫

大曲の花火を題材に、打ち上げ花火の中に詰める火薬の数を求めるために「どんな規則性があるか」考えさせた。

②ゴールを示す

「どんなことができればいいの?」と問いかけることで、本時では火薬の個数を文字を使った式で表すことがゴールであることを生徒に示した。

③学び合いの場面の工夫

個↓ペア↓グループ↓全体と学習形態を変えながら、見つけた規則性を互いに説明し合うことで、考えを深め合うことができるようにした。また、早くできた生徒をミニティーチャーとして生かした。

④本時の学びを価値付ける振り返り  
本時で学習したことを生徒の言葉でまとめさせ、「何ができたのか」



を明確にした。

本校では、授業に限らず、学年集会や全校集会、総合的な学習の発表会などの際にも、他の生徒の発表に対して生徒同士が感想を言い合う場面を設けています。「個」で学んだことを「互い」に学ぶ大切な機会として、今後も継続していききたいと考えています。



## 編集後記

先月、第十一回能代っ子中学生ふるさと会議が開かれ、東雲中の応援活動やパネルディスプレイによる中学生の意見交換等、ふるさと「能代」に対する中学生の熱い思いに感動した一日でした。  
師走です。今年も残りわずかとなりました。来年も健康で、たくさん幸せな「トリこむ」一年にしたいものですね。(A)



本当に小さな私の心がけですが、日々思うのは教師になった時の気持ちを忘れず、先生方のすばらしいところを吸収しようということです。一緒に仕事をしている先生方も心をつなぎ、毎日を積み重ねていきたいと思えます。

がんばったね。明日も元気で学校へ来てね。」の願いを込めて。